

記者発表資料

「R3千葉国道経路情報収集装置設置工事」において「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」等を試行します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きのとりやめや不調が予測される工事について、不調不落対策を試行しています。

今回発注する「R3千葉国道経路情報収集装置設置工事」については、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」等を試行します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

②「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を適用します。

③「配置予定技術者の専任を要しない期間」

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないこととします。

④「余裕期間制度」

余裕期間とは、契約期間内ですが、工期外となるため、受注者は監理技術者等の配置が不要となり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことができるため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

⑤「機器単体費の提示」

本工事は、電子応用設備に係わる機器単体費を歩掛見積参考資料に提示することを試行します。

⑥「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

<p>■千葉国道事務所ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/</p> <p>■公式ツイッター情報 https://twitter.com/mlit_chibakoku</p>	  <p>ホームページ Twitter</p>
<p>発表記者クラブ</p>	
<p>竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会</p>	
<p>問い合わせ先</p>	
<p>国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所</p> <p>電話 043-287-0311（代表）</p> <p>副所長 <small>うえだ</small> 上田 <small>しんや</small> 信也 防災情報課長 <small>さかい</small> 酒井 <small>よしあ</small> 与志亜</p>	

《工事概要》

- | | |
|--------------|-------------------------|
| (1) 工事名 | : R3千葉国道経路情報収集装置設置工事 |
| (2) 工事場所 | : 千葉県富津市大堀地先 外5箇所 |
| (3) 工期 | : 令和3年9月1日から令和4年2月28日 |
| (4) 入札方式 | : 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） |
| (5) 工事種別 | : 通信設備工事 |
| (6) 工事内容（概要） | : 電子応用設備（道路維持） |
| | ・経路情報収集装置（支柱含む） 6台 |
| | ・通信設備 6箇所 |
| | ・無停電電源装置 6箇所 |

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《施工箇所が点在する工事の積算について》

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を適用します。

《配置予定技術者の専任を要しない期間について》

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資器材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

専任を要しない期間は、令和3年10月31日（日）までを予定しています。

《余裕期間制度（発注者指定方式）について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事です。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

余裕期間は、契約締結の翌日から令和3年8月31日（火）までを予定しています。

《機器単体費の提示について》

電子応用設備について、機器単体費を歩掛見積参考資料に掲示します。

《難工事指定について》

難工事指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|-------------------|----------------|
| ○入札公示、入札説明書 交付 | : 令和3年6月17日（木） |
| ○競争参加資格確認申請書 提出期限 | : 令和3年6月28日（月） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | : 令和3年8月2日（月） |
| ○開札日 | : 令和3年8月5日（木） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

